

平成28年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	アマワラビ栽培による地域振興と障がい者に対する就労支援活動
事業主体 (連絡先)	NPO 法人小田切オアシス 長野市大字山田中2488-1
事業区分	⑥産業振興、雇用拡大に関する事業 イ農業の振興と農山村づくり
事業タイプ	ソフト
総事業費	526,684 円 (うち支援金: 325,000 円)

事業内容

小田切地区は過疎化が進み、人口は950人を割り、耕作放棄地も増大する一方です。そこで私たちは高齢者でも容易に栽培ができ、獣害にも強いアマワラビを導入し、普及活動を行う一方、ワラビ狩りツアーなどのイベントも行い活性化につなげています。また、知的障害を持つ「空風」園生、発達障害の若者「長野翔和学園」の生徒に対し就労支援活動を行いました。

- ・アマワラビ管理作業 4月下旬から11月下旬
- ・アマワラビ補植作業 10月24日 小野平圃場 参加者10名
- ・障がい者に対する就労支援 5月から10月にかけて11回行いました。
- ・ワラビ狩りツアーの実施 5月、6月に行いました。
- ・三輪地区住民自治協議会との交流



【ワラビ狩りツアーの様子】

【目標・ねらい】

- ① 植栽範囲の拡大
- ② アマワラビの知名度アップと小田切地区の認知度の広がり
- ③ 障がい者への就労支援

事業効果

- ・植栽範囲が拡大しました。
- ・ワラビ狩りツアーには、長野市民のみならず松本、飯田、中には東京からホテルを予約して参加される方もおり、知名度、認知度アップにつながっています。直売所における小田切産農産物の売上が増加しています。
- ・三輪地区住民自治協議会と小田切地区住民自治協議会との交流は、今年が初の試みでしたが、組織的な交流の基盤ができました。アマワラビはアクが少なく、モチモチ感があり、柔らかく美味しいとの高い評価が得られました。
- ・ワラビ狩りツアー参加者から、栽培についての講習会の依頼がありました。
- ・長野市中山間地懇談会や加藤市長を始め農業委員会の視察があり、モデル的であることが証明されたと思います。

自己評価 【A】

【理由】

- ・植栽範囲が拡大した。
- ・長野市のみならず松本、飯田、群馬県などからの問い合わせがあるなど、知名度・認知度が高まった。
- ・三輪地区自治協議会との組織的な交流が緒についた。
- ・障がい者への就労支援活動も緒についた。

今後の取り組み

春先(4月)の植え付けが、交付承認通知が遅れたために、秋植えとなったが、27年度植え付け苗の生育がよく、29年度は収穫可能となり更なる活性化が予想されます。また、アマワラビの苗の販売も視野にツアーを充実させて、活性化させていきたい。